

鳴子ダムで日本酒の魅力を深めます

市では、産業振興の可能性に関する試行的な取り組みとして、鳴子ダムを利活用した日本酒の長期熟成保存を試験的に実施します。

この取り組みは、最近の日本酒の長期熟成酒とダム人気を背景に、鳴子ダム内のトンネルを利用して、日本酒の熟成実験を行うもので、1月24日、市と国土交通省鳴子ダム管理所が、「鳴子ダムの試行的利活用に関する覚書」に調印しました。

調印に先立ち、12月に開催した現地見学会には、市内の酒蔵会社から、松山地域の株式会社



▲覚書を取り交わす伊藤市長と佐藤鳴子ダム管理所所長

社一ノ蔵と、三本木地域の株式会社新澤醸造店の2社が参加し、4月までに、自社製の日本酒をダム施設内に搬入し、長期熟成実験を開始します。

熟成期間が3年以上になると、「長期熟成酒」と定義され、熟成には、年間を通して安定した温度環境が必要とされています。鳴子ダム内のトンネルは、光が差し込まず、通年で11〜13度に保たれているため最適な環境といえます。

「時間と環境が作りだす日本酒にロマンを感じ、どんな味わいになるか楽しみだ」と参加会社から期待が込められました。

日本酒などの発酵食文化は、古くから大崎地域に根付く、世界農業遺産に認定されたものであります。

取り組みを通して、新たな特産品が生まれることで、観光や地域振興につなげていきます。

新しい田尻のランドマーク
新田尻総合支所が開庁しました

新しい田尻総合支所が2月10日、供用を開始しました。同日行った開庁式は、大崎消防団田尻支団ラッパ隊によるファンファーレで、晴れ晴れしく幕開け。田尻駅前商店会による餅の振る舞い、田尻中学校吹奏楽部の記念演奏、大崎市民歌と旧田尻町民歌の合唱で祝福し、地域の絆と、次世代への期待が込められた開庁式となりました。

新しい庁舎は平屋建てで、広い窓からは、いつでも明るい日光が差し込みます。一番



▲田尻歴史展示室は、開庁日の8時30分から17時まで、無料で見学できます。



▲消防団田尻支団ラッパ隊のファンファーレ

の特徴である「歴史展示室」には、重要文化財「遮光器土偶」の複製資料や、国指定史跡「中沢目貝塚」の貝層断面を堂々と展示。見ごたえたっぷりの充実した内容です。

重要文化財「木造千手観音坐像」は、収蔵庫内の環境調査終了後、10月頃に収蔵を予定しています。

市では今後、鳴子総合支所（令和3年度供用開始予定）と、本庁舎（令和4年度供用開始予定）、それぞれの新庁舎建設を推進していきます。

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



岩出山発

まちはみんなでつくるもの

2月2日、令和元年度きょうDo!のまちづくり文化祭が岩出山公民館（スコレハウス）で開催されました。

「大崎市話し合う協働のまちづくり条例」を市民皆さんに知ってもらい、話し合いの楽しさを体験する場として、まちづくり協議会との共催で毎年開催しています。

岩出山地域で活動する団体や子育てサークルの活動紹介では、人と人とのつながりや、地域のみんなが支え合い活動ができていなど、その喜びと感謝の気持ち、今後の活動の展開などが紹介されました。

参加者が4〜5人のグループに分かれて話し合う「ワールドカフェ」では、スナックのような雰囲気を演出し、楽しく地域づくりのアイデア



▲リラックスした雰囲気、話し合いが弾みます

が生み出されるような工夫がされていました。さまざまな世代の皆さんが、まちづくりへの思いや悩みなどを共有した1日でした。

松山発

ねたきりゼロへ！趣味や演芸をお披露目

2月15日、松山公民館で「第22回ねたきりゼロ運動のつどい 演芸大会・作品展示会」が開催され、松山地域の高齢者約200人が集い、楽しいひとときを過ごしました。

ステージでは、この日に向けて仲間と練習に励んだカラオケやダンスの成果が披露され、会場からは手拍子や一緒に口ずさむ声、中には一緒に躍り出す人などで盛り上がりしました。

また、松山公民館内には、趣味の書道や絵画などの作品が展示され、日々の健康を讃え合う機会となりました。



▲手作りの衣装で躍りに熱が入ります

田尻発

健脚自慢が大崎耕土を颯爽と駆ける

2月2日、第49回田尻クロスカンントリー大会が行われ、自慢の健脚を試そうと、県内外から903人が参加しました。

コースは、田尻総合体育館を発着点として、2,500メートルから10,000メートルまでの10種目。田尻地域の田園風景と、遠くに加護坊山や栗駒山を眺めながら走れるコースです。選手は、冬の快晴で澄んだ空気のなか、心地よい寒さでの走りを楽しんでいました。

ファミリー（ペア）種目では、手をつなぎながら走ったり、「あと少しだ！がんばれ！」と声を掛け合ったりと、親子で励まし合いながらゴールへ疾走していました。

沿道には、選手を応援する家族や、チームの仲間、地域の人が並び、大きな声援を送っていました。



▲冬の寒さを感じさせない見事な走り



▲第40回「北方領土の日」宮城県大崎集会で、市内の中学生15人が早期解決を訴えました。

2020	1日	2日	7日	10日	14日	20日	22日
2月の主な出来事	●おおさき高校生タウンミーティング	●第49回田尻クロスカンントリー大会	●第40回「北方領土の日」宮城県大崎集會	●田尻総合支所開庁式 令和元年所得税と市県民税の申告相談（3月16日・市内7地域）	●令和2年第1回大崎市議会定例会（3月6日） ●ふるかわ産直厨房・食・楽コンサート	●鳴子温泉地域交通死亡事故ゼロ1500日達成感謝状贈呈式	●大崎市民病院鳴子温泉分院建設工事安全祈願祭